

■現状と課題

- 障がいのある人が住み慣れた地域の中で自立生活を送るには、住まいの確保が必要であるため、障がいの態様に応じた公共住宅の供給や、民間住宅のバリアフリー化等の促進が求められています。
- 「すべての人にやさしく安全なまちづくり」に向けて、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）」を踏まえ、公共建築物や道路、民間建築物等における福祉環境整備の促進を図り、総合的に福祉の視点を組み入れたまちづくりを進める必要があります。
- 障がいのある人が利用しやすい公共交通機関の整備や、自家用車による移動への利便性の向上が求められています。
- 障がいのある人もない人も、誰もが地域の一員として共に助け合い、支え合う地域ぐるみの防犯・防災体制づくりへの取り組みが求められています。

■施策の方向性

1 住環境の整備

障がいのある人の住まいを確保し、住戸のバリアフリー化を行う等、住環境の整備を推進します。

2 ユニバーサルデザインの推進

誰もが使い勝手の良いユニバーサルデザイン（UD）を取り入れ、計画の段階から障がいのある人の参画を得ながら、やさしいまちづくりの推進を図ります。

3 緊急時における障がい者への支援

災害時に自力避難が困難な障がいのある人が安全に避難ができるように、地域の共助による緊急時の支援体制づくりを進めます。

■具体的な取り組み

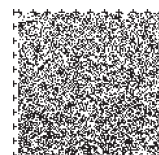
4-1 住環境の整備

① 障がい者住宅改造費助成

住宅を住みやすく改造する場合に、リフォームヘルパーの派遣による助言及び改造費用の一部助成を行います。

② 公営住宅の活用

高齢者や障がい者等の住宅弱者対策として、1階への優先的入居、単身者向け住宅の供給を行います。さらに、市営住宅のグループホームとしての活用や公的保証人制度の検討を行います。



4-2 ユニバーサルデザインの推進

① 公共施設等の整備

市施設の改善・整備を行い高齢の方や障がいのある人等にやさしいまちづくりを進めます。さらに、多目的トイレ（オストメイト及び音声誘導装置付き等）の設置など、バリアフリー化による誰もが利用しやすい環境の整備を推進します。



多目的トイレ
(熊本市役所内)

② 民間建築物の整備

不特定多数の方が利用する既存建築物のユニバーサルデザイン化改修工事費の一部を助成します。

③ 安全で快適な道づくり

歩道の段差解消や点字ブロックの設置等による安全で快適な道づくりを進めます。また、路上における放置自転車の解消や不法占用物件の撤去を行い、バリアフリー空間の確保に努めます。

④ 公共交通・移動手段の利便性の向上

障がいのある人が安心してバスや市電を利用できるように、ノンステップバス等の導入を促進します。また、段差解消等、車椅子の利用環境整備も含め電停のバリアフリー化を推進します。



低床電車「COCORO (こころ)」

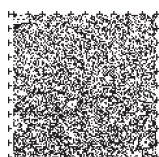


バリアフリー化された電停
(中央区大江)

4-3 緊急時における障がい者への支援

① 地域における避難支援体制づくり

熊本市地域防災計画に基づき市において「避難行動要支援者名簿」を作成し、名簿に掲載される災害時に支援を必要とする障がいのある人に対し、本人同意に基づき、平常時から情報提供及び個別避難支援プランの作成を推進し、災害時の支援体制を築きます。



② 地域ぐるみの防犯・防災体制の整備

高齢者や障がい者が安全で安心して暮らせる地域ぐるみの防犯・防災体制づくりを推進します。

③ 施設における防災体制の整備

施設の所有者や管理者に対し、障がいのある人の利用に配慮した改修や防災訓練の実施を働きかけ、災害発生時の連絡通報体制、避難誘導体制の確立を図るとともに、防災・防火意識の高揚に努めます。

④ 点字文書による防災指導小冊子の発行

火災や緊急時の連絡方法等を記載した点字版の小冊子を配布します。

⑤ 緊急通報システム貸与事業

単身または障がいのある人のみの世帯で緊急時の連絡が困難な方に、緊急通報システムの貸与を行い、24時間体制の対応を行います。

⑥ F A Xや携帯メールを活用した緊急通報の利用促進

音声（言葉）での通報が困難な方々に、F A Xや携帯メールによる119番通報の利用を促進します。

⑦ 福祉避難所の拡充

災害発生時に、体育館等の一般避難所では避難生活を送ることが困難な方（要援護者）の受入れを行う場として、事業所との協定に基づき「福祉避難所」を開設することで、避難支援体制の整備を行い、障がい特性に応じた対応を図ります。また、必要に応じて関係先と合同で訓練等を実施し、災害時の連携体制の強化を図ります。

***災害が起こったときの心配ごと**

平成26年度に実施した障がい福祉に関するアンケート調査で「大きな災害が起こった時の心配ごと」についてお尋ねしたところ、次のとおりでした。

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	難病	発達障がい
①	避難所で、障がいにあつた対応をしてもらえるか心配(29.7%)	避難所で、障がいにあつた対応をしてもらえるか心配(54.3%)	必要な薬が手に入らない、治療が受けられない(25.7%)	必要な薬が手に入らない、治療が受けられない(25.7%)	避難所で、障がいにあつた対応をしてもらえるか心配(62.9%)
②	安全なところまで、すぐ避難することができない(26.9%)	まわりの人とのコミュニケーションがとれない(36.5%)	被害状況や避難所の場所、物資の入手方法などがわからない(27.5%)	避難所で、障がいにあつた対応をしてもらえるか心配(29.4%)	まわりの人とのコミュニケーションがとれない(36.5%)
③	必要な薬が手に入らない、治療が受けられない(25.7%)	安全なところまで、すぐ避難することができない(34.1%)	どこに連絡すべきかわからない(25.6%)	安全なところまで、すぐ避難することができない(34.1%)	・どこに連絡すべきかわからない(35.3%) ・被害状況や避難所の場所、物資の入手方法などがわからない(同) ・必要な薬が手に入らない、治療が受けられない(同)

